

一対比較表の設定法のあまり間違わない方法 その2

1) 最初に比較するものの重要性の順序をきめる。(同順位あり)

例えば、1. 価格, 2. デザイン, 3. 性能

2) 順序の隣り合ったものの重要性の違いを等号が不等号で表す。

=ほぼ等しい, >少し重要, >>重要 (不等号2つ位が無難)

例えば 価格>デザイン>性能

3) 一対比較表の左から見て所定のところに、間にはさむ不等号の数で数値を入れる。

例えば、なし→1, 不等号1つ→3, 不等号2つ→5, 不等号3つ→7 等

車の購入	価格	性能	デザイン
価格		5	3
性能			
デザイン		3	

4) 一対比較表作成で間の空欄を埋める。

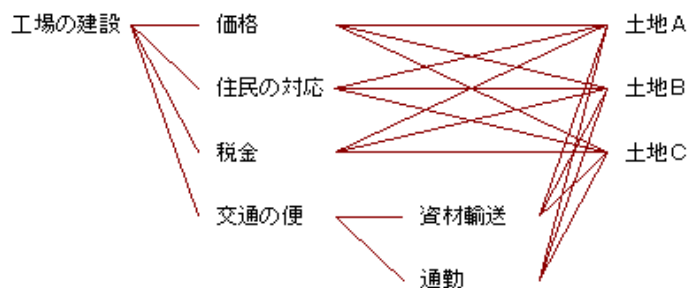
車の購入	価格	性能	デザイン
価格	1	5	3
性能	1 / 5	1	1 / 3
デザイン	1 / 3	3	1

前回と同じ構造のモデルですが、一対比較表が異なりますので、自分ですべてやってみることをお勧めします。

問題4

会社で新しい工場を建設する予定地を探しており、土地A, 土地B, 土地Cの3つの候補地が考えられている。これらの土地を検討する基準として、価格、住民の対応、税金、交通の便の4つが考えられているが、交通の便は、資材輸送と通勤の2つに分けられる。それぞれの検討項目に対して、各判定基準と土地の優位性は表の上に与えられているものとする。以下の問いに答えよ。

1) 構造図が以下となるようにデータを設定せよ。



2) 一対比較を作成し、重要性を見ながら値を設定せよ。

工場の建設に対して（価格=税金>交通の便>住民の対応）

	価格	住民の対応	税金	交通の便	整合度 C.I.
重要度					

交通の便に対して（資材輸送>通勤）

	資材輸送	通勤	整合度 C.I.
重要度			

価格に対して（B>A=C）

	土地 A	土地 B	土地 C	整合度 C.I.
重要度				

住民の対応に対して（B>A>C）

	土地 A	土地 B	土地 C	整合度 C.I.
重要度				

税金に対して（A>B=C）

	土地 A	土地 B	土地 C	整合度 C.I.
重要度				

資材輸送に対して（B=A>>C）

	土地 A	土地 B	土地 C	整合度 C.I.
重要度				

通勤に対して（B>>A>C）

	土地 A	土地 B	土地 C	整合度 C.I.
重要度				

3) 以上の評価を総合した最終評価を求めよ。

	土地 A	土地 B	土地 C
重要度			

最良候補地 []

問題4 解答

2) 一対比較を作成し、重要性を見ながら値を設定せよ。

工場の建設に対して（価格=税金>交通の便>住民の対応）

	価格	住民の対応	税金	交通の便	整合度 C.I.
重要度	0.390	0.068	0.390	0.152	0.014

交通の便に対して（資材輸送>通勤）

	資材輸送	通勤	整合度 C.I.
重要度	0.750	0.250	0.000

価格に対して ($B > A = C$)

	土地 A	土地 B	土地 C	整合度 C.I.
重要度	0.200	0.600	0.200	0.000

住民の対応に対して ($B > A > C$)

	土地 A	土地 B	土地 C	整合度 C.I.
重要度	0.258	0.637	0.105	0.019

税金に対して ($A > B = C$)

	土地 A	土地 B	土地 C	整合度 C.I.
重要度	0.600	0.200	0.200	0.000

資材輸送に対して ($B = A >> C$)

	土地 A	土地 B	土地 C	整合度 C.I.
重要度	0.455	0.455	0.091	0.000

通勤に対して ($B >> A > C$)

	土地 A	土地 B	土地 C	整合度 C.I.
重要度	0.188	0.731	0.081	0.032

3) 以上の評価を総合した最終評価を求めよ。

	土地 A	土地 B	土地 C
重要度	0.389	0.435	0.177

最良候補地 [土地 B]